

令和 4 年度

二級水系流域治水協議会

県管理河川大規模氾濫に関する減災対策協議会

2 市町の取組について

- ・唐津市
- ・玄海町

唐津・玄海圏域 二級水系流域プロジェクト【唐津市の取組】

令和4年度佐賀県福祉施設のいのちを守る災害対応力向上事業
- 大雨時の避難計画を確認・検証 - からつ医療福祉センター 避難訓練

～訓練想定～

- ・ 令和4年9月台風14号を再現＋松浦川が氾濫する危険性が極めて高くなる想定で訓練を実施
- ・ 施設では、台風の接近に備え緊急会議を開催
- ・ 警戒レベル3の発令により防水板を設置
- ・ 松浦川の氾濫の危険が極めて高いことから、上階に簡易ベッドを設置し入院患者を垂直避難させた。



緊急会議



防水板設置



簡易ベッド設置



唐津医療福祉センター

出典：唐津医療福祉センターHP



入院患者 垂直避難

【実施日、出席者】

- ・ 令和4年12月15日（木）、唐津市、佐賀県、唐津医療福祉センター（約30人）

【成果】

- ・ 大規模災害時の資機材の場所の確認、取扱等の対応手順を確認することができた。施設避難計画の改題等の洗い出しができた。

【今後の予定】

- ・ 次年度以降も施設独自の訓練を実施。

唐津・玄海圏域 二級水系流域プロジェクト【唐津市の取組】

防災パトロール・地域防災リーダーフォローアップ講座



【防災パトロール】

- ・令和4年4月12日（火）、唐津市、唐津警察署、唐津土木事務所、唐津農林事務所長、唐津市消防団長等（約20人）

【防災啓発活動（防災講話、地域防災リーダーフォローアップ講座、防災出前講座等）】

- ・令和4年度中：30回開催（受講者：約1,000人）

【成果】

- ・防災パトロール：関係機関と災害危険箇所の共有を図ることができ、顔の見える関係を築くことができた。
- ・防災啓発活動：多くの市民に水防災に関する必要な知識を伝えることができ、自助や共助の強化につなげることができた。

■防災パトロールの実施



成 果

- 雨期前に災害危険箇所の確認を関係機関と実施することで、被害の軽減を図ることができる
- 関係機関と災害発生時などの協力体制の確認を行うことができる

■要配慮者利用施設との訓練



成 果

- 避難確保計画に基づき、避難準備から避難先への移送確認等をおこなうことで、適切な判断力及び避難行動力が養える

■ 自主防災組織、消防団(水防団)、防災リーダーの育成

防災訓練の実施



情報伝達訓練

住民避難訓練(自主防災組織)



災害情報収集訓練

ドローンを使用した訓練

▶ 有浦川の氾濫を想定し、長倉地区の浸水状況を撮影・本部へ送信

情報収集訓練【ドローン】



消防団による「こえかけ」広報訓練



消防団による広報訓練

成果

- タイムラインに基づく実践的な訓練を反復することで、行動を定着させることができる
- 逃げ遅れを防ぐための防災意識の啓発が図れる
- 各自が情報を入手し判断することの大切さを理解してもらう